

テーマ	講師	期日	場所	ご参加	内容
第1回 教員対象セミナー		平成24年6月22日(金) 15:00～17:00	日本電子専門学校 7号館 B1階	日本語学校 <22校27名>	第1部、第2部ともにパネルディスカッション 第1部 留学生の進学及び就職の状況について 第2部 日本語学校、大学、専門学校、企業、各パネラーの立場からの「就職指導」「採用」における問題点の具体的な事例の紹介。及び今後の取り組みと展望について
第1回 教員対象学校見学会		平成24年10月19日(金) 15:00～17:30	日本経済大学 渋谷キャンパス2号館 246教室	日本語学校 <4校5名>	・学校見学(施設・設備見学) ・授業見学 ・現在並びに今後の大学の方針、取り組みについての説明 ・学校説明(学部・学科紹介、入試説明 など) ・外国人在校生との懇談会
第2回 教員対象セミナー 一留学生の日本における就職の現状と専門学校の対策について	山本 慎一郎氏 (TYKGコンプライアンスコンサルティング)	平成24年11月19日(月) 15:00～17:30	学校法人 文化学園4階 国際会議室	日本語学校 <17校24名>	・日本企業の留学生に対する求人現状 ・就職活動の実際 ・就労ビザ取得の現状 ・留学生の日本企業就職の現状 ・留学生の就職支援への取り組み ・今年度入試関連情報(募集状況、奨学金、入試内容など)
第3回 教員対象セミナー及び懇親会 留学ビザの発給状況などから見る最近の傾向について	小松原 祥一氏 (行政書士 小松原事務所)	平成24年12月12日(水) 18:00～21:00	新宿プリンスホテル B1F「トリアノン」	法人会員 <4校 8名> 個人会員 <2名> 合計10名	・留学生ビザの国別発給状況など、直近の傾向について ・ベトナム、ミャンマー、ネパールなど、今後留学ビザ申請数の増加が見込まれる国からの留学生における傾向と対策 など ・「日進研」事務局スタッフの紹介 ・今後の取り組みと会の展望について
第4回 教員対象セミナー 「日本語学校生の大学院進学」	佐々木 倫子氏 (桜美林大学大学院言語教育研究所長 教授)	平成25年2月19日(火) 午後3時～5時	桜美林大学大学院 四谷キャンパス B1F 大ホール	法人 <53校93名> 申込み法人 <55校98名>	・日本語学校進路指導担当者に求められる能力 ・日本語学校生の在籍状況、大学など上級学校への進学など、概況報告 ・大学院進学志望の日本語学校生に必要な能力これらのテーマをワークショップ形式にて進行
第1回 教員対象学校見学会		平成24年10月19日(金) 15:00～17:30	日本経済大学 渋谷キャンパス2号館 246教室	日本語学校 <4校5名>	・学校見学(施設・設備見学) ・授業見学 ・現在並びに今後の大学の方針、取り組みについての説明 ・学校説明(学部・学科紹介、入試説明 など) ・外国人在校生との懇談会
第2回 教員対象セミナー 一留学生の日本における就職の現状と専門学校の対策について	山本 慎一郎氏 (TYKGコンプライアンスコンサルティング)	平成24年11月19日(月) 15:00～17:30	学校法人 文化学園4階 国際会議室	日本語学校 <17校24名>	・日本企業の留学生に対する求人現状 ・就職活動の実際 ・就労ビザ取得の現状 ・留学生の日本企業就職の現状 ・留学生の就職支援への取り組み ・今年度入試関連情報(募集状況、奨学金、入試内容など)
第3回 教員対象セミナー及び懇親会 留学ビザの発給状況などから見る最近の傾向について	小松原 祥一氏 (行政書士 小松原事務所)	平成24年12月12日(水) 18:00～21:00	新宿プリンスホテル B1F「トリアノン」	法人会員 <4校 8名> 個人会員 <2名> 合計10名	・留学生ビザの国別発給状況など、直近の傾向について ・ベトナム、ミャンマー、ネパールなど、今後留学ビザ申請数の増加が見込まれる国からの留学生における傾向と対策 など ・「日進研」事務局スタッフの紹介 ・今後の取り組みと会の展望について

第4回 教員対象セミナー 「日本語学校生の大学院進学」	佐々木 倫子氏 (桜美林大学大学院言語教育研究所長 教授)	平成25年2月19日(火) 午後3時～5時	桜美林大学大学院 四谷キャンパス B1F 大ホール	法人 <53校93名> 申込み法人 <55校98名>	・日本語学校進路指導担当者に求められる能力 ・日本語学校生の在籍状況、大学など上級学校への進学など、概況報告 ・大学院進学志望の日本語学校生に必要な能力これらのテーマをワークショップ形式にて進行
第1回日進研セミナー 「留学生のキャリアデザインを考えるにあたって知っておきたいこと」	京祥太郎先生 (山口福祉文化大学講師)	平成25年6月26日(水) 午後3時～4時	西新宿 コンベンションルーム AP西新宿	10校13名	本年度年間研究テーマのPart I セミナーということもあり、京先生には最近の日本語学校留学生の進路状況及びそれに伴う問題点、特に日本企業に就職のためのビザ継続取得について、現実に発生している問題などについて、ご講演頂きました。前半では、日本語学校留学生の最近の進路状況について、各種のデータを詳しくご紹介頂き、後半では、先生ご自身も体験された留学生の日本企業就職にあたって発生したビザ取得の具体的事例を基に、参加者全員に2～3名ずつでのグループワークディスカッションを行って頂き、他校の先生方との議論を深めて頂きました。このワークショップ実施により、単なる座学ではなく、出席者相互のコミュニケーションもとれ、盛り上がった1時間のセミナーとなりました。
第2回日進研セミナー 「日本語学校留学生のキャリアデザインを考える—Part II」	平田謙二先生 (東京工業大学博士) 星 幸宏氏 (アイアム&インターワークス 取締役)	平成25年8月30日(金) 午後3時～5時25分	学校法人 文化学園 4F国際会議場		平田先生からは、日本人の持つ外国人に対する考え方の心理的なズレなどに始まり、大変興味深い話を頂きました。外国人の採用を検討する日本企業の側にも、まだまだ大きな問題があるようです。対象となる外国人の適性を生かした進路指導が、日本語学校の段階から必要なのではないかと、痛感致しました。この「I-will総合適性テスト」については、まだサンプル収集段階にあるため、日本語学校には、無料で留学生の適性テストが実施できます。ご希望の学校は、日進研までその旨をご連絡頂ければ、アイアム&インターワークス社が、学校に伺い、テストの内容・方法等について詳しくご説明致します。テスト結果は、学校を通じて留学生本人にフィードバックします。
第3回日進研セミナー 「ITモバイル業界の現状と、今後の外国人社員採用について」	宮宗逸三氏 (アミュ株式会社代表取締役)	平成25年10月24日(金)	学校法人 電子学園 日本電子専門学校 9号館「メディアホール」	9校10名	アミュ株式会社は、2001年4月に、モバイル(携帯電話等)での音楽等コンテンツの配信を事業内容として設立されました。当初は国内の携帯電話対象の配信でしたが、2007年にはモバイル契約者数が1億に達し、2008年の所謂スマートフォンの販売開始以降、その配信マーケットが、国内のみならず世界中に一気に拡大し、それと共に日本語能力を基礎として、それぞれの国の文化や習慣を身に付けている外国人のプログラマー、Webデザイナーなどの採用ニーズが高まっている、とのことでした。会場では、宮宗社長の講演後、多くの活発な質疑応答が行われ、日本語学校サイドとしても、留学生の就職意欲の高いIT分野の企業経営者の生の声を聞くことができ、進路指導の参考となるセミナーとなりました。
研修会		平成25年11月12日(火)	桜美日本デザイナー学院・日本写真芸術学校		
研修会		平成25年12月5日(木)	拓殖大学		
第4回日進研セミナー 「ベトナムの最新日本留学事情と日本企業への就職意識」	角谷三好氏 (HRI-V社顧問)	平成25年12月18日(水)	東京テクニカルカレッジ	20校25名強。その他大学・専門学校関係者など、総勢50名強。	現在、国内の日本語学校が一番ホットな話題「ベトナム」について、ベトナム第三の都市、中部のダナンを駐在拠点として、ベトナム全土にわたりベトナム進出日本企業のサポートのための会社(HRI-V社)の顧問として、日系企業・各大学・現地日本語学校・ベトナム人留学生などと日々接しておられる角谷三好さんのご講演を頂きました。ベトナム国民の気質・特徴・習性・文化、日本語教育の状況、日本留学に至るまでの留学生側の諸事情、現状及び今後の課題などについて、短い時間でしたが、大変要領よく、また興味深く解説頂きました。一歩引いた立場から、ベトナム人の日本留学熱の状況を俯瞰しておられる角谷さんならではのご講演で、会場内はご参加の皆様が熱心にメモをとっておられる様子が印象的でした。
第5回日進研セミナー 「中国・重慶からの最新日本留学事情と日本への就職意識」	松木正氏 (中国国立重慶師範大学日本語科講師)	平成26年2月5日(水)	高田馬場センタービル	12校15名	松木先生の講演内容は、ご自身のプロフィールのご紹介に始まり、中国内陸部の直轄都市・重慶市(人口約3000万人)のご紹介、更に勤務される重慶師範大学における日本語科学生たちの現状や、進路について幅広くお話が展開されました。重慶師範大学の日本語科は、2007年入学が第1期生で、松木先生は2009年の2月から赴任し、第1期生の2年生時から日本語指導を開始されました。現在第7期生が1年生であり、学生数は各年次36名～65名、各学年1～2クラスで運営されています。学生は、重慶市周辺から三分の二、そのほかは中国全土から集まっています。日本語能力試験は学生全員が2年生時と3年生時に受験し、2年生時のN2級合格者は76～100%、3年生時のN1級合格者は61～77%と高い合格率です。卒業後の進路は、一部の学生は国内の大学院進学や、日本の大学・大学院への進学、日系企業への就職もあるようですが、大半は国内企業などへの就職が多いようです。日本の法政大学院や広島文化学園大学などは、積極的に卒業生を受け入れを行っているようですが、日本語学校への留学などはまだ殆どないようです。講演を伺って、重慶市などの中国内陸部への日本語学校の学生募集活動や卒業生の日本企業リクルートなどは、まだまだ手つかずのところが多いと実感するセミナーでした。
研修会		平成26年2月19日(水)	東洋大学	33名	始めに副学長・国際地域学部教授 北脇秀敏先生から「東洋大学への留学生受け入れ状況」をお話いただきました。東洋大学では今後、留学生の受け入れを増やしていくそうです。その一環として留学生専用の学生宿舎を建設します。次に今年度の入試結果速報を入試部長 加藤先生に解説していただきました。留学生の入試での合格ライン、日本語能力試験の目安 などは貴重な情報でした。まだ未定ですが、次年度の入試変更についてもお話がありました。その後、「大学院個別相談」「大学個別相談」「留学生との懇談」「キャンパス見学」の4コースに分かれ研修しました。参加された日本語学校先生からは「留学生へ熱心に対応している様子がわかった」「今年度入試結果の数字は参考になります」など好評のコメントがありました。

平成26年度 第1回日進研セミナー 「大学院研究・研究計画書の基礎講座」	吉原先生 (中央ゼミ)	平成26年6月19日(木)	中央ゼミナール	18校29名	はじめてご参加の日本語学校さんも多く、テーマへの関心の高さが伺えました。中央ゼミで「研究計画書の個別指導」をご担当の吉原先生が講師でした。計画書の内容・構成、テーマの見つけ方、参考資料の探し方など基礎的な内容で講演されました。実践的な内容だったと思います。
研修会		平成26年7月18日(金)	明星大学	12校15名	明星大学は今後、留学生の受け入れについて積極的に取り組む方針です。入試説明では、合格者の日本留学試験の点数分布や研究生からの進学方法などを検討し、指定校になるための具体的方法などが説明されました。また受け入れ状況の説明では、各学部・学科の在籍状況(どの学部が入りやすいか)や日本語能力レベル、就職指導状況、留学生へのいろいろな支援が説明されました。例えば、留学生には月に一度個別面談があり、出欠状況やアルバイト状況の管理も大学が手助けしています。明星大学日野キャンパスは、新宿からは最短で40分で到着します。参加された先生方からも「思ったより近いし、緑の多い落ち着いたキャンパスですね」などの声をいただきました。
平成26年度 第2回日進研セミナー 「大学院教授が教える“合格に近づく研究計画書”」	矢野裕児先生 (流通経済大学教授・大学院物流情報学研究科長)	平成26年10月9日(木)	東京テクニカルカレッジ	20校27名	今回は提出した研究計画書を大学院教授はどう見るのか?をテーマにしました。大学院の留学生の受け入れ状況の説明から始まり、中国での物流学の現状や院を希望する学生の問題点を説明して頂きました。さらに、研究計画書の構成をどうするか?実際に学生から提出されるテーマの例と問題点、研究内容の問題点など計画書を大学側はどう見るのか解りやすく説明して頂きました。約1時間あまりでしたが、時々笑いを取りながら計画書について分かりやすく、講師の矢野先生の立場からのご意見をお聞きしました。質問の時間では「いい研究計画書の例はありますか?」「院希望者の日本語能力は?」「中国の大学への就職状況は?」などが
平成26年度 第3回日進研セミナー 「大学3年次編入説明会」	帝京大学、城西大学、流通経済大学 ご担当先生	平成26年10月29日(水)	高田馬場センタービル	21校28名	第1部は、各大学が編入試験について「どんな試験を実施しているのか?」など説明しました。また、「質疑応答」の時間をつくり、「編入試験では日本語能力試験の成績はどれくらいが目安ですか?」「3年次ではなく2年次に合格するケースはありますか?」「中国の3年生大学はどのように評価されますか?」「編入時の単位の扱いはどうなりますか?」など実践的な内容の質問ができました。質問の内容から「編入試験」が日本語学校に知られていないと思います。多くの制度をもっと研究し、留学生の受験に利用するとともに道は開けると考えます。第2部は会場内にブースを作り、大学個別相談会を行いました。予想以上の先生方が会場に残り、各大学に質問していました。今回の「編入説明会」は初めての企画でした。時期や参加大学を変えて第2弾、第3弾を考えています。ご期待ください。
平成26年度 第4回日進研セミナー 「大学研究生制度の活用法」	垣内先生 (和陽日本語学院) 佐々木文彦先生 (明海大学教授)	平成27年2月13日(水)	ハリウッド大学院大学	30名	第1部は研究生制度の説明。講師は「和陽日本語学院」の垣内先生です。制度の説明から各大学の研究生制度について、入試内容を中心に説明して頂きました。第2部は実際に指導されている大学教授の話。講師は明海大学教授 佐々木文彦先生です。明海大学の紹介から始まり、大学院の現状、研究生への指導状況をお話しいただきました。講演後のアンケートでは「大学や研究科により、入学法など違いがあることが分かった。今後注意したい」「明海大学の状況がよくわかった。他の大学の話も聞きたい。」などありました。
平成27年度 第1回セミナー 「大学ブランド力最新事情」	垣内先生 (和陽日本語学院) 高橋先生 (城南進学研究社)	平成27年5月21日(木)	日本電子専門学校	27校39名	第1部は「外国人留学生の大学受験実態」。和陽日本語学院の垣内先生が講演。各大学の留学生受験状況や大学院・学部の入学の比率、日本人と留学生の入試倍率の比較などあまり知られていない数字も紹介され、指導のポイントなど指摘がありました。第2部は「大学ブランド力の最新事情」。城南進学研究社の高橋先生が講演。現在の大学入試状況から始まり、18歳の受験人口の減少が大学ブランド力の変化にどう影響し、今後どのような展開になるか解りやすく解説して頂きました。質疑応答にも丁寧に答えていただき、18時終了予定でしたが、18時半に終了しました。参加された日本語学校の先生方の熱心さが伺えました。
平成27年度 第2回セミナー 「日本語学校からの就職・ベトナム人は国内就職できるのか?」	垣柳田先生 (東京育英日本語学院) 高山氏 (アットナビジャパン)	平成27年6月24日(水)	下北タウンホール	40名	第1部は日進研会員による「導入講座」。今回は東京育英日本語学院の柳田先生にお願いしました。テーマは「ベトナム人留学生の現状と就職の可能性」。いろいろなデータを紹介しながら留学と就職の現状を分析して頂きました。在留資格交付までの期間など興味ある情報が入手できました。第2部は「ベトナム人留学生・国内就職の将来性」。講師は企業のベトナム進出をサポートしている会社「アットナビジャパン」の高山さん。ベトナム人の国内就職をサポートする仕事もしています。実際に就職している企業は従業員30人未満が一番多い。資本金は1千万円以下が中心だそうです。「ベトナム人は就職できない」ではなく「何か方法がないのか?」「どうしたらできるのか?」考えれば道は開けるかもしれません。参加者からは「なるほどそうだったのか!」という思いで拝聴しました。進学せずに就職したい留学生に「道」はあるのか、ないのか、本人の努力次第だけではない方法があるということがわかりました。」…などなど反応がたくさんありました。

<p>平成27年度 第3回セミナー 「大学の留学生向けAO入試解析」</p>	<p>1部 講師 垣内哲氏 (和陽日本語学院) 2部 講師 篠原正行氏 (流通経済大学 入試課)</p>	<p>平成27年8月4日(火)</p>	<p>ハリウッド大学院大学</p>	<p>27名</p>	<p>第1部基礎講演は和陽日本語学院の垣内先生にお願いしました。そもそもAO入試ってなんだろう?・・というところから話はスタートしました。そのAO入試が留学生募集に導入されつつあります。留学生向きAO入試受験を日本語教師はどう指導したらいいか、日本のAO入試の特徴、AO入試の注意点を話して頂きました。第2部の講師は流通経済大学の入試課 篠原正行先生です。「留学生向けAO入試」を実施する大学の立場から、導入の目的、その背景をお話いただきました。学力試験なしで早期に入学が決まる入試なんです、大学により「一発勝負型」と「事前相談型」があります。その型の特徴を把握することが大切です。流通経済大学の例を挙げながらAO入試を解析して頂きました。</p>
<p>平成27年度 第4回セミナー 「留学生にやさしい・低額学費大学説明会」</p>	<p>垣内哲氏 (和陽日本語学院)</p>	<p>平成27年10月23日(金)</p>	<p>六本木「ハリウッドプラザ」</p>		<p>第1部の基礎講座「留学生の学費を読み解く」は和陽日本語学校の垣内先生にお願いしました。安くなるパターンは?なぜ授業料の減免率は30%なのか?日本私立学校振興・共済事業団って?など。30%の減免の意味を知り、大学の意図を読み解くこと。大変面白い内容でした。第2部はブース形式の大学説明会。興味のある大学を選び説明を聞きます。会場内には今回ご参加いただけなかった全国の大学から最新の大学案内を提供して頂き、並べました。大学の方からは、「他の説明会と違い、説明より質問に答える形で進行し充実した時間だった。」「こんな積極的に先生方が質問してくれるガイダンスは初めてです」など参加してよかったという感想をいただきました。</p>
<p>平成27年度 第5回セミナー 「合格に近づく研究計画書～福祉編」</p>	<p>第一部講師 垣内哲氏 (日進研会員) 第二部講師 矢島卓郎氏 (目白大学大学院生涯福祉研究科科長)</p>	<p>平成28年2月6日(土)</p>	<p>東京テクニカルカレッジ</p>	<p>37名</p>	<p>第1部は基礎知識レク「在留資格”介護”の追加で何が変わるか?」日進研会員の垣内様がレクチャーしました。介護を目指す留学生を指導するポイントが理解できたと思います。内容は、在留資格にかかわる出入国管理および難民認定法の改正の現状を話し、なぜ在留資格「介護」を加えるのかを解説。また介護福祉について国家試験合格の義務化とEPA(経済連携協定)における介護人材の受入れ状況をわかりやすく説明していただきました。 第2部は「合格に近づく研究計画書・福祉編」講師は目白大学大学院生涯福祉研究科科長の矢島卓郎教授です。「福祉とは何か?」「大学・大学院で福祉を学ぶことはどういうことなのか」から講義は始まり、大学院受験のためのスケジュールや研究計画書の具体的な書き方が解説されました。実際の研究計画書をもとに、審査はどういうところがポイントになるか?教授はどの部分に注目するのか?など、チェックポイントを具体的に指摘して頂きました。「実際に教授とお話するチャンスはなかなかなく、不安な気持ちで研究計画書の指導をしていました。今日はその点について「生の声」をお聞きでき、よかった。」「研究計画書の書き方はもちろん、入学後の留学生の様子、課題などもわかり大変勉強になりました。」などの感想をいただきました。</p>
<p>平成27年度 第6回セミナー 1部「ベトナム人留学生 数値解析」 2部「ベトナム大学事情」</p>	<p>第一部講師 垣内哲氏 (日進研会員) 第二部講師 近田政博教授 (神戸大学)</p>	<p>平成28年3月5日(土)</p>	<p>東京テクニカルカレッジ</p>	<p>76名</p>	<p>今年度最後のセミナーは今、関心の高い「ベトナム」がテーマ。全国各地から入学関係、専門学校関係、企業、日本語学校などが集まりました。 第1部は基礎講座「ベトナム人留学生の数値解析」講師は会員の垣内哲氏です。ベトナム人留学生の留学状況からベトナムのどのエリアから来ているか、日本の高等教育機関より日本語教育機関への留学が急増している現状が話されました。 第2部は「ベトナム大学事情」講師はベトナム高等教育研究の第一人者 神戸大学 近田政博教授です。ベトナムの歴史から教育制度・体系の話から始まりました。ベトナム人留学生への日本語教育で日本語学校の先生方が直面している問題(について、ベトナム人留学生の特徴は、国の歴史・経済・環境により作られていますので、それを知らないと日本語教育における問題を解決することはできないという結論でした。 アンケートでは「なかなか本心が見えないベトナム人に悩んだり、文化の違いで怒ることも多々ありましたがセミナーを聞いてどうい教育を受けてきて、どういう思想かが少し理解できました。これからの教育に活かしていきます。」多くの方が企画の意図を理解して頂いたようです。</p>